

今週のフレーズ&ワード

start off with ~

~~から始める~

NO.49

ワイン試飲会で世界各国の生産者と直接触れ合う機会に恵まれたときは、気分も世界旅行。あるときニュージーランドのワイナリーのオーナーが「ワインのポイントは aroma (香り)、taste (口に含んだときの感触)、finish (飲んだ後に口に残る感触) の3つ」と熱っぽく語ってくれたことがありました。

ワインを口に含んだときの感想を英語でうまく表現するのはなかなか難しいですが、あくまで素人ですから、肩に力を入れずに楽しく覚えていきましょう。

How about **starting off with** a light, crisp and fruity white wine?

まずは、軽くて切れがよくフルーティーな白ワインから始めてみませんか。

start off with ~は「~から始める」。start に off がつく「何かを始める最初のステップ」というニュアンスが出てきます。例えば、飲み会の「とりあえずビール！」には Let's start off with beer. がぴったりです。

この文で思い浮かぶワインはソーヴィニオン・ブラン (Sauvignon Blanc)。light は「(口当たりが) 軽い」、crisp は食べ物ならサクサクした感じですから「キレがいい」。シャルドネ (Chardonnay) のような rich (コクがある)、vanilla-flavored (バニラの香りのする) 白ワインとはだいぶ違います。

To pair with the food, we should **start off with** medium-bodied, less tannic red wine.

この料理とのペアリングには、まずミディアムボディーで、
渋みを抑えた赤ワインから始めるといいですね。

start off with の同じ用法です。pair with ~は「~と組み合わせる」。ペアリング (pairing) でおなじみです。

この文はメルロー (Merlot) の特徴を示したもの。medium-bodied は heavy-bodied (重い) と light-bodied (軽い) の中間。tannic (渋みのある) は渋みのもと tannin (タンニン) の形容詞形です。

The Vienna Philharmonic Orchestra **started off** their new season **with** Mahler's Symphony No.4.

ウィーンフィルは、新しいシーズンをマーラーの交響曲第4番でスタートさせました。

start off A with B で「A を B でスタートさせる」。試合が国歌斉唱で始まるなら The match is started off by the national anthem. 1日がジョギングでスタートなら I start off my day with jogging. です。

単語・熟語チェック

crisp キレがいい

rich コクがある

pair with ~ ~と組み合わせる

tannic 渋みのある